へ13
3740
37

門へ13
號3740
本37

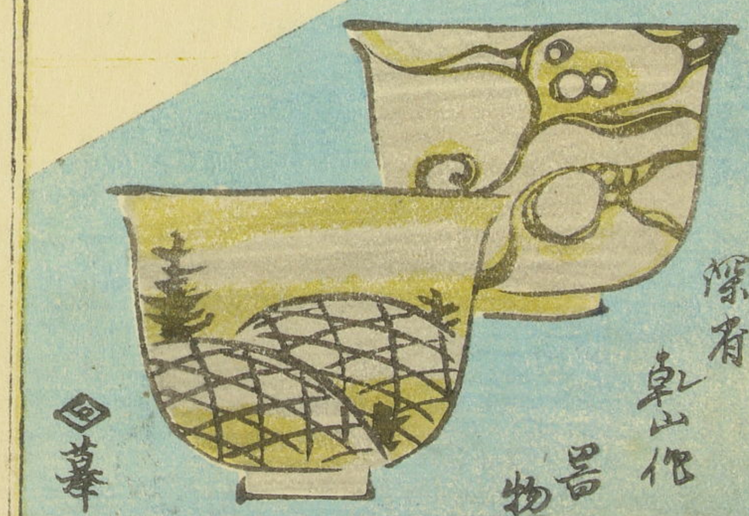
小説義侠時代のゝみ

松九郎二冊

為永春水作

一雪、英國堂画

若林星樹



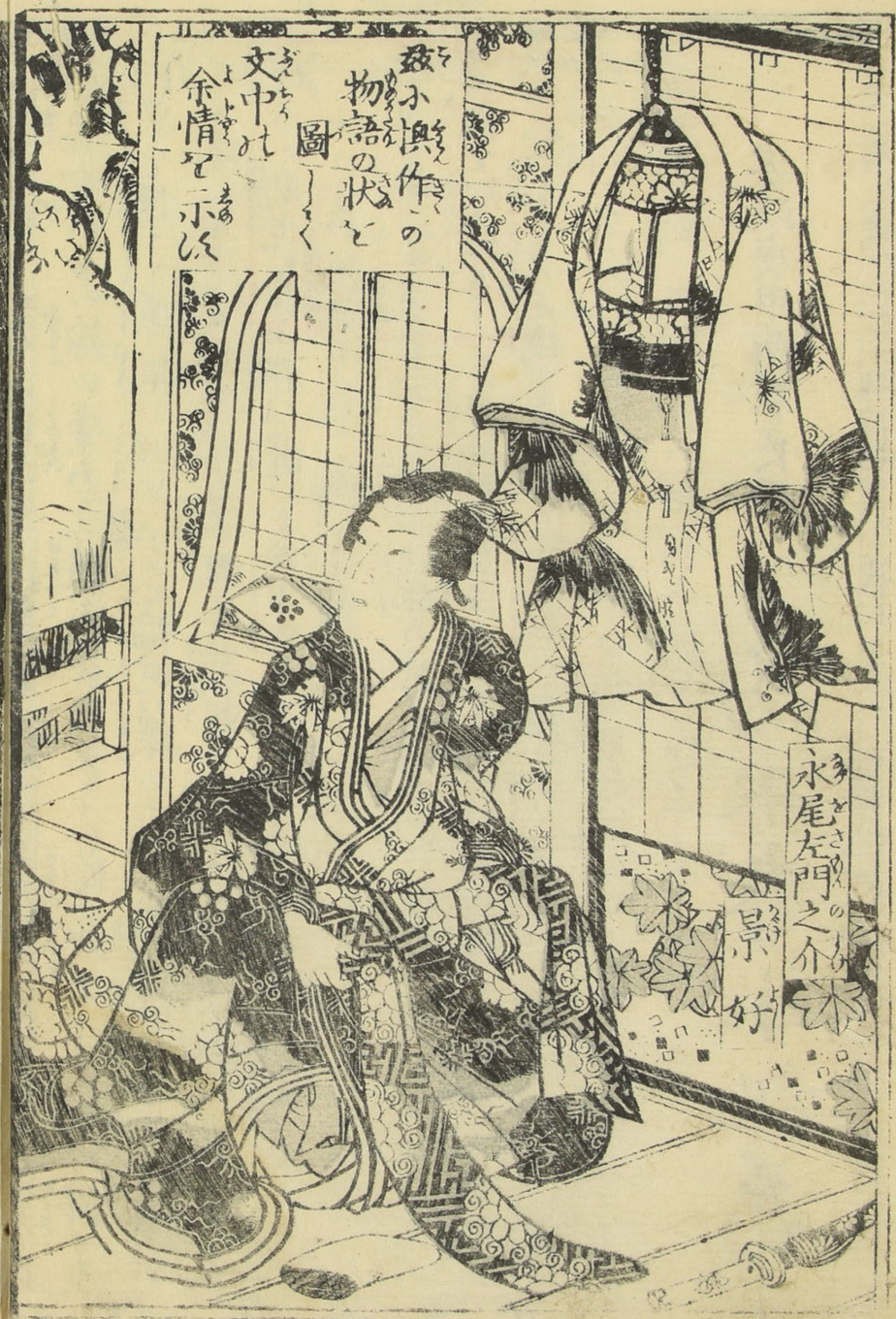
深有
乾山作
器物

四幕

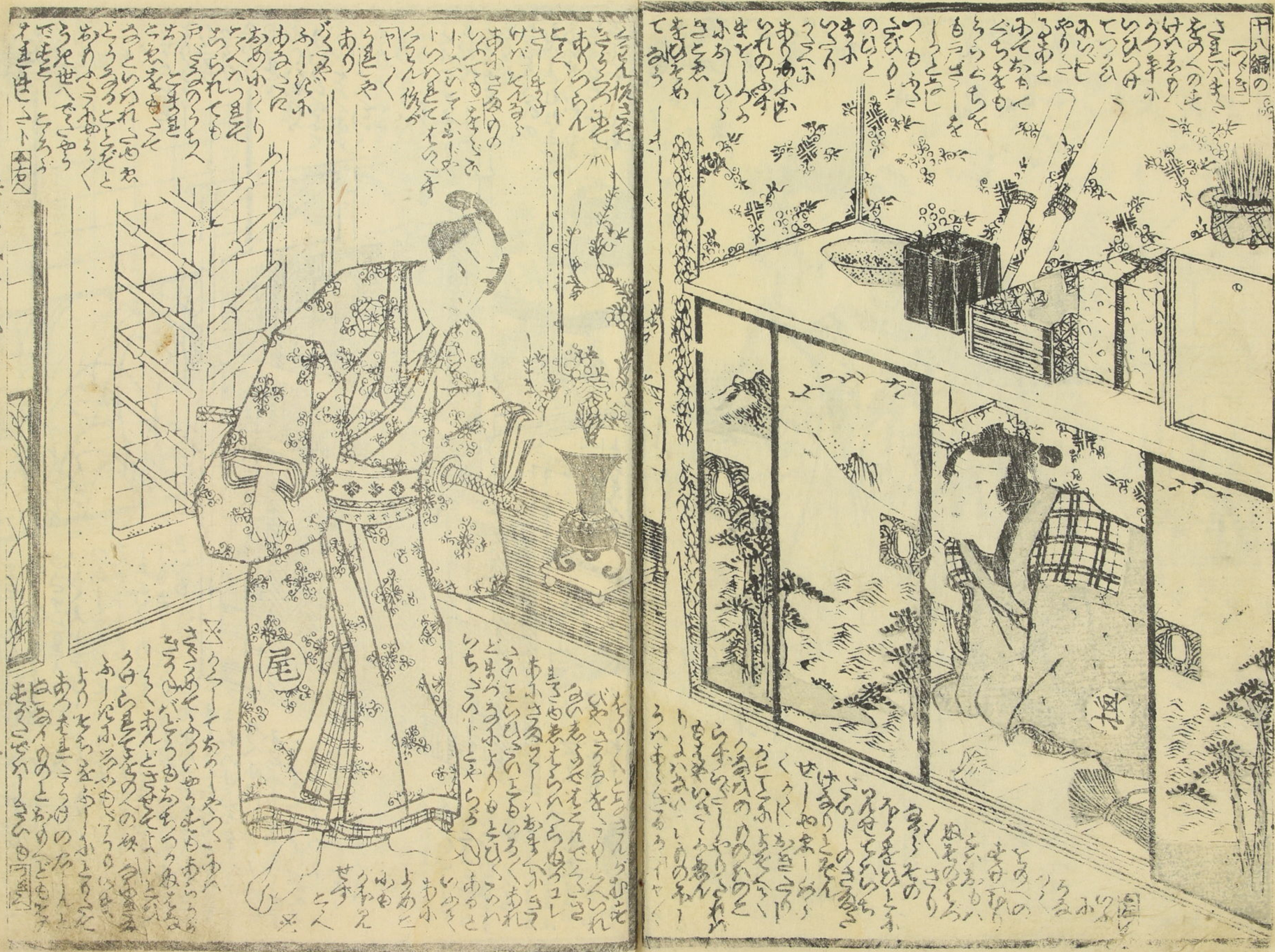
積善の家に餘の慶あり。積不善の家に餘の殃あり。とかゝ佛も因果を説く。應報の理を示して輪廻の環のめぐるが如く必己が出るより結已る復らざる事のゝみど。善報も惡報も亦よく遲速あれど事を得ど。遲きは則その身に報ひ遲ければ子孫に及ぶ今這編に著す所の浪花の市客太郎兵衛俠氣にして換作を恵む偶ま兒浪路ありて貴人の劍を奪せしも繼母の毒手を免れんとして終に逆旅の露と消し別て換作夫婦が義氣ゆゑに落亂を守傳きて妻西野に合法が十字ゐて好賊由緑之亟に討ち換作に又めぐりあひ兄に換作と筋に死せし。斯のごとの善人は斯のごとの薄命なる。動機の元差別あるに似れど。所謂過世の宿業故這処に惡業滅しそ善果の形るゝ。開に後輯に説をゆづべし。

安政庚申新春良辰

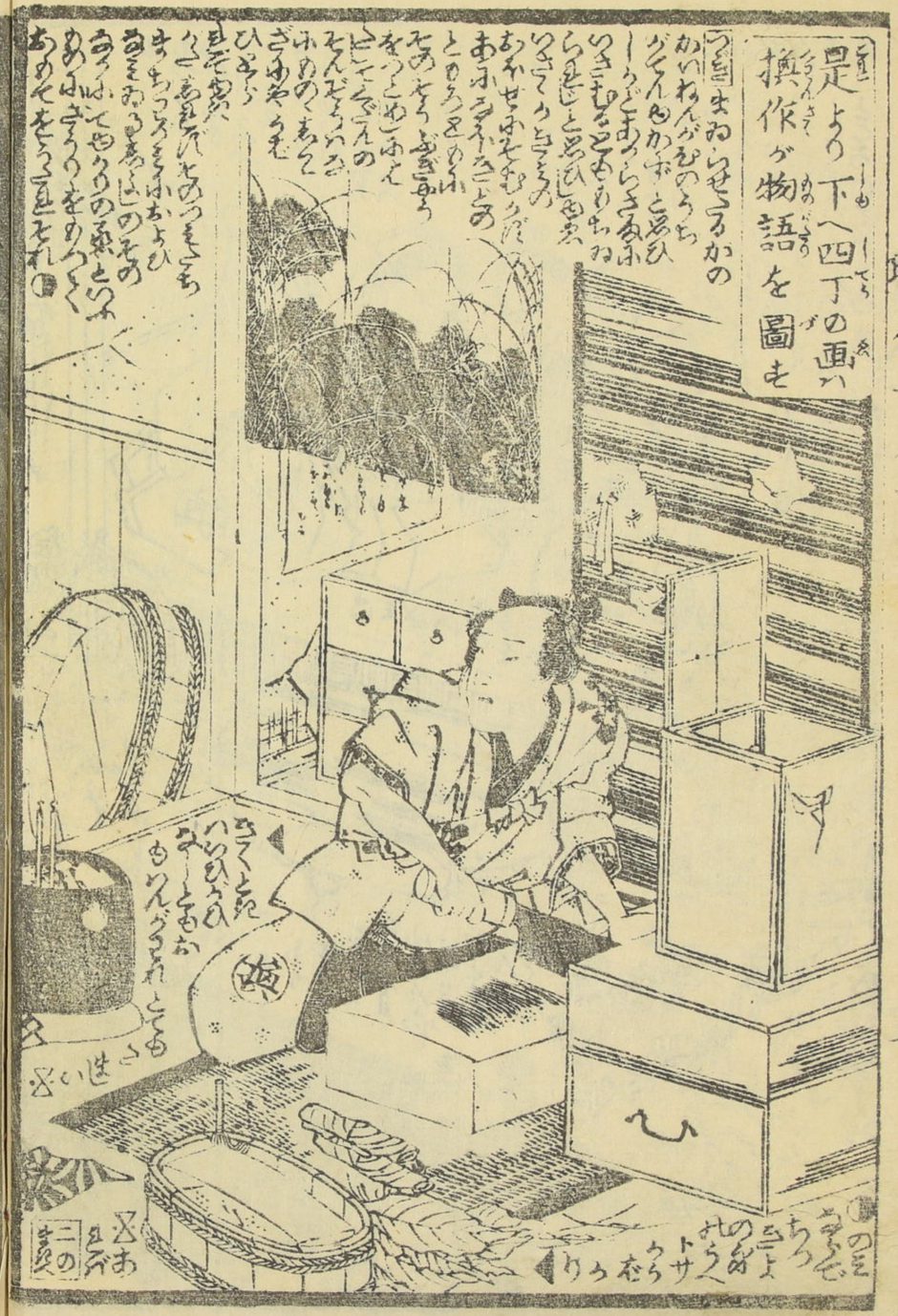
為永春水記

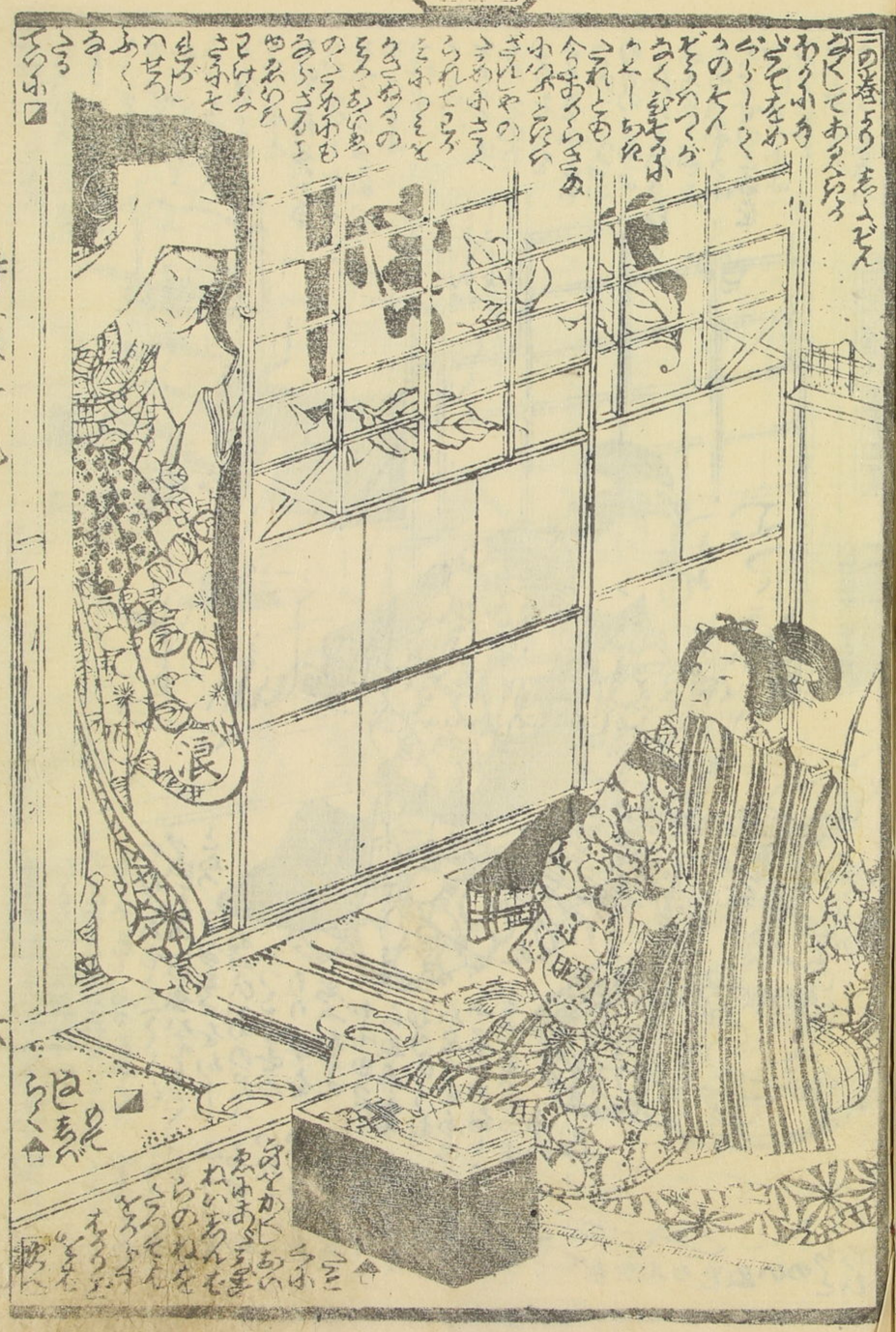

敦小熟作の物語の狀を圖しるす
文中より余情を示す
永尾左門之介
景好

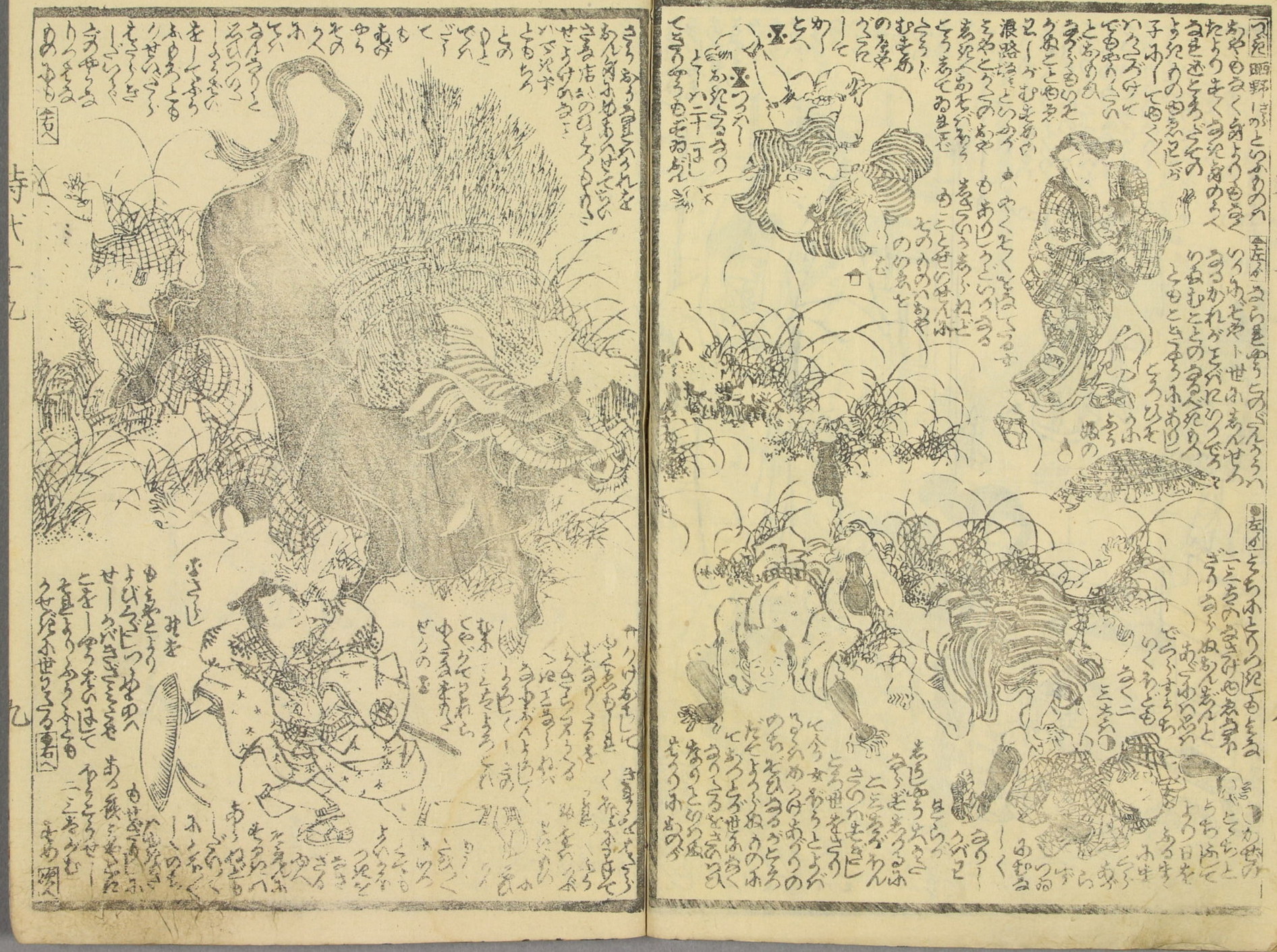
侍女
浪路



是より下へ四丁の画ハ
換作が物語を圖も



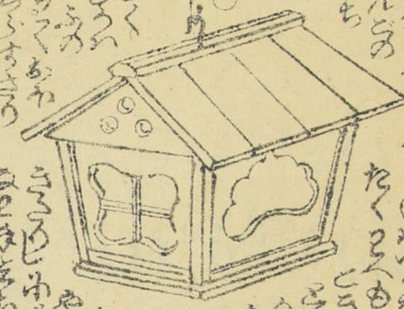




槙

屋

春水作 国貞画



風流亜平切　越前奉書紙　伊豫奉書紙

往来百図　上中下　洞郁画

目録

当年新板　春のお江戸みやげ

忠臣義士銘々伝

若林堂蔵